

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	山王地域総合相談窓口（ランチ）				
提出日	7	年	6	月	13 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☐ 地域や専門職とのつながり等 ☐ 認知症高齢者等の支援 ☐ その他 ()	☒ 社会資源の創設（居場所づくり等） ☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	地域住民が参加できる多様な活動を創り、総合相談窓口との接点を増やしてゆく	
地域ケア会議から 見えてきた課題	1.ひとり暮らしで身寄りのない高齢者の支援では、複数の課題がある。支援の必要があるにもかかわらず長期に独力で生活され、困窮に陥っている事例も多く、多様な福祉サービスの活用が望まれてきた。 2.不適切な金銭管理や生活困窮では地域住民からの情報が重要であり、地域の困りごとの解決の糸口となっている。	
対象	地域関係者、地域住民	
地域特性	今年度は火災が4件あり死亡された方もおり、住まいを失った方の支援を行った。生活保護受給のひとり暮らし高齢者では、町会に入らず、身寄りがない人が多いため、個別訪問にむけて地域との協力を進めている。古くからの住宅が民泊にとってかわり急速に地域の様子が変化している。	
活動目標	山王地域総合相談窓口（ランチ）（以下「ランチ」という）が、気軽に相談できる身近な窓口として「地域に根ざした居場所の一端を担う拠点」となること。地域住民が活躍する機会を提供し社会資源の開発を行い、社会的孤立の解消を目指す。	
活動内容 (具体的取組み)	不適切な金銭管理やセルフネグレクトとともたらえられるような医療の拒否、ターミナル期支援が複数あり多職種連携の中での支援を行った。 ①「東部包括フリースクール」（以下「包括」という）を活動の柱として位置づけてきた。とりわけ山王地域において出張フリースクールでは消費者被害、権利擁護の学習会を実施し35名の参加で好評を得た。 ②居場所づくりとしての「よりあい」には多様なニーズに対応するため、歌、手芸、芝居、絵手紙を開催した。 ③地域活動協議会と協働し山王ボッチャクラブと百歳体操の同日開催で定着している。ポッチャ大会にも参加が広がった。 ④「みどりカフェ」は地域住民ボランティアによる地域清掃の後、将棋、麻雀を用意し喫茶も実施し、麻雀には女性の参加がある。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	支援をつないだ後のケアマネジャーへの後方支援への依頼に対応し、ACPIについての助言、相談に対応した。 ①山王地域において出張フリースクールでは消費者被害の研修、権利擁護をテーマにした「けんりようご漫才」を実施し35名の参加で好評を得た。 ②手作り、うたごえ、お芝居など講師や演者も運営する側もボランティア参加による開催が出来てきた。多様なニーズに応え、のべ97名の参加を得た。 ③月2回の百歳体操と山王ボッチャクラブが定着し、平均18名の参加を得た。 ④9回開催。のべ76名の参加を得た。地域清掃には認知症状のある方の参加もあり、コーヒー、焼き立てパンを提供。居場所の人一つとして定着した。清掃の後の麻雀には女性の参加も増えた。 ⑤「ふれあい喫茶」は毎月1、2回開催。焼き菓子提供は好評を得、のべ389名の参加を得た。 ⑥山王・飛田ふれあい喫茶の相談窓口の設置から地域の取り組みの周知、顔の見える関係性を形成した。	
今後の課題	引き続き関係機関との連携を強め、支援の質の向上に努めたい。 様々な企画を支援者との関係づくりの糸口とし、地域を巻き込みながら孤立解消に向けた支援につなげてゆきたい。それぞれの企画に地域住民ボランティア参加を呼びかけて、支える側として活躍できる場を創造し「楽しい」と感じられる活動の場としてゆきたい。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 16 日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会	多様な居場所や活動の場を創出し、特に「ふれあい喫茶」や「山王みどりキッチン」は参加者が多く、高齢者や障がい者、多世代交流の場としても機能しており、引き続き地域住民やボランティアと協働した「楽しい」と感じる取組みを期待している。	